

議会報告会報告書(第1班)

開催日時	平成 26 年 5 月 12 日 (月) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	みたけ地区活動センター
出席議員	<p>大畑正二 副議長</p> <p>報告者 藤村秀利 守谷祐志 伊勢志穂 中村亨 鈴木努 熊谷喜美男 吉田孝人</p> <p>司会者 菊田隆, 藤澤由蔵</p>
参加人数	20 人
	<p>(質疑)</p> <p>質疑：みたけ地区活動センターの利用計画を充実してほしいが、市の対応はどのようになっているのか。また、公民館と活動センターでは運営が異なるのはどうしてか。</p> <p>回答：指定管理者が施設ごとに立てている利用計画により企画運営されており、活動内容が異なる場合がある。また、公民館法等により運営の考え方が異なるものである。</p> <p>質疑：産業振興（特に中小企業の支援）に努めてほしいが、市の中小企業支援の現状はどのようになっているのか。</p> <p>回答：市では岩手大学との産学官連携の強化、個人企業家の育成等に取り組んでいる。</p> <p>質疑：周囲からの支援が十分でないような状況が盛岡市の女性にも起きており、もっと積極的な支援策が必要ではないか。</p> <p>回答：市に子育て支援を充実するよう要望する。</p> <p>質疑：市内小・中学校の耐震化の現状はどのようになっているのか。</p> <p>回答：入札不調などもあり現在 70%程度の進捗率であるが、平成 27 年度中に完了予定である。</p>



(意見・要望等)

- ・敬老バスの使用可能回数が、今までの年間2回から1回に減ったため、元の年間2回に戻せないか検討してほしい。
- ・地域の介護支援センターの場所が月が丘にあるが、この地区からは遠い。もっと近くに建設してほしい。
- ・みたけ地区活動センターの階段に滑らないような対策を講じてほしい。また、設備と活動内容の充実を図ってほしい。
- ・活動センターに講義等に使用するプロジェクターを備えてほしい。


盛岡市議会議長 様

平成26年6月17日

上記のとおり報告します。

代表者 菊田 隆

議会報告会報告書(第2班)

開催日時	平成 26 年 5 月 13 日 (火) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	河南公民館
出席議員	大畑正二 副議長 報告者 鈴木礼子 佐々木信一 竹田浩久 神部伸也 村上貢一 工藤由春 櫻裕子 司会者 佐々木弥一, 鈴木俊祐
参加人数	9 人
	<p>(質疑)</p> <p>質疑：リニアコライダーが市民貢献になるのか。また、使用後に地下トンネルが核廃棄物処理場にならないという担保はあるのか。</p> <p>回答：4兆3千億円の経済波及効果が見込まれている。また、使用後に地下核廃棄物処理場とならない担保は今のところない。</p>  <p>質疑：医大の移転による今後のまちづくりについて市議会の考えはどうなっているか。</p> <p>回答：各議員が一般質問で取り上げているが、市議会として統一した考えは持っていない。</p> <p>質疑：盛岡劇場は、文化振興事業団が管理を行っているが、建物等の修繕が必要となっても、修理が進まない。</p> <p>回答：市の施設は老朽化しているが、少ない費用での運営を余儀なくされており、議会でも取り上げている。アセットマネジメントの方向付けが明らかになった段階でも引き続き取り上げていく。</p> <p>質疑：地元以外の業者が指定管理者となっている施設もあり、地元の雇用を含めてどのように考えていくのか。また、職員の雇用期間も短く、指定管理者制度は非正規雇用を常態化し技術の継承が困難になっている。直営に戻すべきではないのか。</p> <p>回答：指定管理者制度のあり方は議会でも議論されており、当局は見直しをすとしたが、引き続き取り上げていく。</p>

質疑：学校給食について、玉山区も含めどのように考えているか。

回答：玉山区も都南地区もセンター方式であるが、都南学校給食センターでは建て替えの計画も出ている。旧盛岡地区は弁当、ランチボックス、自校単独調理を行っている状況にある。議会も食育に関して市民と共通の考え方をもって取り組んでいく。

質疑：議長・副議長の任期は4年にもどすべきではないか。

回答：県内のほかの13市の中には、県市議会議長会長職となる当市議会議長の任期は地方自治法どおり4年にしてほしい旨の意見もあり、今後議会内で議論したい。

質疑：桜山神社参道地区一帯は火災を契機に遺構として整備するのか。今後の方向性はどのようになっているか。

回答：地元商店街等との話し合いの中で、市が計画したまちづくりは白紙になっている状況である。

質疑：市の福祉施策に対して議会はどのように考えているか。

回答：障がい者への支援などに関して不十分な部分があるものと思っている。

(意見・要望等)

- ・市は財政的に厳しいと言っているが、議会としてムダ使いの事業のチェックをしてほしい。
- ・市民と痛みを分かち合うとするならば、市が何を優先させて事業等を行うのか市民に明らかにしてほしい。


盛岡市議会議長 様

平成26年6月17日

上記のとおり報告します。

代表者 鈴木 礼子

議会報告会報告書(第3班)

開催日時	平成 26 年 5 月 14 日 (水) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	上田公民館
出席議員	金沢陽介 議長 報告者 佐藤妙子 庄子春治 村田芳三 宮川 寿 鈴木一夫 兼平孝信 伊達康子 司会者 遠藤政幸, 佐藤千賀夫
参加人数	14 人
	<p>(質疑)</p> <p>質疑：街路樹などの伐採において、「樹木を大切にする」という考えが議員の中に足りないのではないか。</p> <p>回答：樹木を大切にするという気持ちはどの議員も持っていると思う。</p>  <p>質疑：以前の議会報告会で、市民と市長の直接懇談会を年 2 回開催することについて条例で定め、義務化することを要望したが、まだ実現されていないのはなぜか。</p> <p>回答：まだ議会全体としてまとまっていないので今後も議論していきたい。</p> <p>なお、市長との対話の機会を設けるということでは、市内各地域でまちづくり懇談会を開催している。</p> <p>質疑：市長は、日本一安全な都市にすると宣言したが、最近の自然災害を見るとそうになっていないと思う。</p> <p>回答：全国と比較しての指標もあり、なにをもって日本一とするかは難しい面もある。しかし、現実には災害が頻発しており、危機管理体制を強化する必要があることから、危機管理体制の強化や災害対策本部の体制見直し強化について、議会からも多くの問題点の指摘を行っている。</p>

質疑：市長は盛岡城の復元や第2のアイスアリーナ建設など、公約として言っていないことを行おうとしているがなぜか。人口減少が見込まれる中、後年大きな負担となっても建設する必要があるのか。

回答：盛岡城の復元については議論の途中の状況である。通年型スケートリンクの建設は、ウィンタースポーツの裾野を広げる目的で冬季国体開催が決定される前からの案件であり、賛否はあったが、議会としてウィンタースポーツの振興のため必要と認めた。

質疑：昨年11月の仁王地区の議会報告会で要望した、県立中央病院前への信号機設置については、その後どうなっているのか。

回答：市議会のホームページに要望を記載した報告書を掲載した。要望のあった状況を調査した上で、議会報告会で出された意見、要望の取り扱いについて検討する

質疑：近い将来、子どもの人口減が予想されている。少子化対策について市、議会の取り組みを、わかりやすく説明してほしい。

回答：子ども子育て会議で幼稚園、保育園、学童保育などの部会に分かれて検討しているが、国の指針が示されてから具体的に進むこととなる。議会でも、子どもたちのため、今後も議論を重ね市政へ反映させたい。

質疑：若者が他県へ流れている現状、若者の働ける場所の確保、企業の誘致や支援、地元雇用の確保についてどのように考えているか。

回答：官民一体で取り組み、工場や企業などが立地しやすい、他の自治体に負けない環境づくりを更に進めていかねばならないと考えている。

質疑：被災者の方々が市内に1,500人以上いて、対応は地域が担っている。より安心して相談できる体制を作ってもらいたい。

回答：心のケアを含め、被災された方々に対応してきた。現在は復興支援センターを中心に、相談・訪問等様々な取り組みを行っているが、健康や生活、将来の自立が大きな課題であると認識している。相談員の増員等、将来を見据えた体制を整えるなど、一層力を入れていく。

質問：国保税の引上げが心配であるが、対策はどうなっているのか。また、市債の現状はどうか。市債削減への意気込みを聞きたい。

回答：引上げ額を抑えるため、ここ3年ほど毎年、一般会計から約3億8千万円の基準外繰り入れを行っている。国の負担割合が減っているのが問題。市債残高は市民一人あたり73万円にのぼるが、平成16

年度以降減少してきており、現在まで100億円以上減らしている。新たな市債発行は予算の8%を超えないよう予算編成を行っている。

(意見・要望等)

- ・「市議会だより」は網羅的に書かれていて具体的ではなく、市民にわかりにくい。何がどのように変わったかなど具体的にわかりやすく書いてほしい。会派の意見は伝えたい内容を絞った方よいのではないか。
- ・まちづくり懇談会での市長の発言が速いように感じるので、ゆっくりと話してもらいたい。
- ・岩手医大の移転による市中心部の空洞化や医療の低下のおそれがあり、また、子ども子育て支援制度に関する請願が不採択になるなど、今後の市政が心配である。市が発展するような施策の実現をお願いしたい。
- ・地域の疲弊が加速し、高齢化が進んでおり、一人世帯、高齢化世帯、空き家が増加する中、市民にやさしいまちづくりをお願いしたい。道路の補修や除雪など、市民の要望などに対してもより丁寧で早急な対応をお願いしたい。

盛岡市議会議長 様

平成26年6月17日

上記のとおり報告します。

代表者 兼平 孝信

議会報告会報告書(第4班)

開催日時	平成 26 年 5 月 15 日 (木) 19 時 00 分～20 時 30 分
開催場所	本宮地区活動センター
出席議員	<p>金沢陽介 議長</p> <p>報告者 豊村徹也 天沼久純 池野直友 中村一 後藤百合子 佐藤栄一 高橋和夫</p> <p>司会者 高橋重幸, 細川光正</p>
参加人数	32 人
	<p>(質疑)</p> <p>質疑：盛岡市の人口について、10 年後の年齢別の構成比はどうなっているのか。少子高齢化についてどのような取り組みをしているのか。CO2 削減や地球温暖化等の環境問題について盛岡市はどのような取り組みをしているか。</p> <p>回答：2025 年には盛岡市の人口の 30%超が 75 歳以上となる。少子化対策、若者の定住対策のための働く場の確保等の課題について議会で研究して提案していく。環境問題について、市場では太陽光発電等の自然エネルギーを取り入れている。ごみ問題については、6 月からプラスチック容器包装を毎週回収してリサイクルすることになっている。</p> <div data-bbox="363 1489 801 1780" data-label="Image"> </div> <p>質疑：盛岡市は、昔から比較すると人口が爆発的に増えている。県内外から人が来ていると思われるが、県内・県外別の人口流入者数を出してほしい。</p> <p>回答：社会動態については、盛岡市近隣の町村からの流入・流出、県内からの流入・流出のデータを毎年出している盛岡市の統計書がある。国勢調査では町別での動態については時系列で、年少人口、生産人口、高齢人口、男女別といったような分析をしたものがある。</p> <p>質疑：道明町内会の地域は、盛南開発により便利になった。30 代の新住民が多いが保育園・幼稚園がない。市では保育所の定員を増やしている</p>

ようだが、地区から遠い保育所を利用しているのが現状である。向中野地区の南側や北飯岡地区に保育所を新設する計画はあるのか。

回答：予防医学協会の保育所が来年3月に、門地区にも1箇所保育所ができる予定となっている。

質疑：学校給食の地場産品の利用について、他市町村では重量比率で60%を超えているところがあるが、盛岡ではどうなっているのか。生産者が農産物を学校に供給するためのハードルが高いとか、給食を作る場所が自校ではなく給食センターであるなどの要因があるかと思うが、分かる範囲で重量比率又は学校給食に取り入れる地場産品の扱いについて、どのように考えているのか教えてほしい。

回答：地場産品の利用状況や、地産地消がどの程度進められているかといったデータはない。自校方式の小学校が30校、隣接する小学校から給食の提供を受けている中学校が2校あり、地場産品を利用していると思われるが、詳細は調べて報告する。給食センターは2カ所あるが状況が分からないのでこちらも調べて報告する。

質疑：盛岡ブランドについて、どのような商品があって、それをどう販売促進に繋げているのか教えてほしい。

回答：盛岡ブランドについては、産業まつりやカタログ等で、また、東京や姉妹都市のうるま市の物産展などでもPRしている。盛岡ブランドに関しては、宣伝や販売に対する支援のあり方などについて、議会として市当局に対して様々な提言をしている。

(意見・要望等)

- ・地域の防災本部の設置が必要であるが、その場所が未だに定まっていないし、人材バンク事業が必要と考え準備をしているが、事務を行う場所がなく計画が頓挫している。本宮地域協働協議会では現在、公的な場所に事務局がないことが大きな問題となっている。市は地域協働の事業を推進しているのに、なぜ事務局の設置場所の件が難航しているのか。調査・検証をお願いしたい。
- ・道明地区の土地区画整理事業区域は、一部計画の変更があり、市からは現在の道路を利用したライフライン整備計画が今年の春に示されると言っていたが未だに示されていない。家が古くなって建て替えをしなければならない状況なのに換地の関係で建て替えできない状況にある。住民の高齢化が深刻で不安である。区画整理事業の早期の完成を要望する。
- ・区画整理事業について、戸数は150戸あるが、地区内の建物は老朽化し、住民の高齢化も進んでいる。インフラ整備も40年間放置されている。地権者のことも考えてほしい。多少の軽減措置はあるが、固定資産税も現況農地なのに宅地並みの課税である。議会にも状況を知っていただきたい。

盛岡市議会議長 様

平成 26 年 6 月 17 日

上記のとおり報告します。

代表者 高橋 重幸